

地域防災活動拠点の機能強化

1 地域の課題（目指す地域の姿）

政府の地震調査委員会が公表した「2020年版全国地震動予測地図」によると、全国の県庁所在地の中で、今後30年間に震度6弱以上の強い揺れが襲う確率は、水戸市が最も高く、81%となっています。

災害により自宅に被害を受けた住民が駆け込む施設として、地域防災活動拠点が持つ役割は大きく、各種インフラの停止を想定した災害発生後の初動対応を充実させるため、必要となる備蓄品及び防災資機材を増強し、避難者が少しでも安心して避難生活を送ることができる地域を目指します。

2 プロジェクトの概要

本市では東日本大震災での反省から、備蓄物資保管場所の拡大、非常食の増強、備蓄品目の追加に取り組み、合わせて周知にも努めているところです。最新の市民アンケートの結果では「飲料水、食糧、日用品などの備蓄」が1位となっており、備蓄体制の更なる充実が求められています。

地域防災活動拠点に設置している防災倉庫において、アレルギーフリーやアレルギー対応の非常食、乳アレルギー用粉ミルク及び哺乳瓶、生理用品、ペット用品等備蓄品目を追加するとともに、携帯トイレ・簡易トイレをはじめとするトイレ用品や、プライバシー保護対策として活用するパーテーション、スマートフォン等の充電に使用する発電機・蓄電池などの防災資機材の増強を行い、避難者の安心に繋がる取組を実施します。



3 企業様のメリット

- その1：防災資機材への名入れを検討し、災害時の住民の安心に直結する備蓄体制強化を応援する企業様のイメージアップにつなげます。
- その2：広報みと、水戸市HPへ企業様のお名前を掲載します。
- その3：水戸市長から企業様への感謝状贈呈式を行います。
その際に、マスコミ各社へプレスリリースを行います。

